

2020年 3月 30日

新 宿 区 長 宛て

団 体 名 (特非) あそびと文化のNPO
新宿子ども劇場
所 在 地 新宿区四谷2-10-8
(フリガナ) リジチョウ ノリマツ ヨシミ
代表者氏名 理事長 乗松 好美

新宿区協働推進基金助成金事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第12条の規定により、下記のとおり報告します。

		記
1 収支計算額	収入	<u>1,302,888</u> 円
	(内助成金)	<u>500,000</u> 円
	支出	<u>1,302,888</u> 円

2 助成事業

事 業 名	障害者とともに輝く文化体験 ～インクルーシブ・共生社会を目指して～
実施の日時又は期間	2019年6月7日 (金) ～2020年2月15日 (土)

<p>対象者の範囲及び人数</p>	<p>総事業の延べ人数794名（うち区民706名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ワークショップ事業 述べ53名（うち区民50名） <ul style="list-style-type: none"> (1) 知的障害疑似体験 (2) Tシャツ制作ワークショップ ●公演事業 述べ459名（うち区民415名） <ul style="list-style-type: none"> (1) 西新宿地区「サファリパークDuoコンサート」 (2) 落合地域「くつろげるおんがくかい」 (3) 四谷地域「アンディ先生のマジック教室」 ●ホール公演 130名（うち障害者14名・付き添い13名・シャロームみなみ風5名 区民117名） 「音と空間のジャグリング」 ●アウトリーチ事業 述べ50名（うち区民32名） <ul style="list-style-type: none"> (1) 二葉乳児院 「チリンとドロンのコンサート」 (2) 余丁町小学校わかまつ学級（東京女子医大病院） <ul style="list-style-type: none"> ①ゴスペル ②落語 ●委員会 （6回）述べ102名（うち区民92名） <p>※各事業の内訳については別紙参照</p>
<p>事業内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近で生活をしている障害者に対して理解を深め、共生社会を目指すために、以下の事業を実施した。 ・公演事業に関しては、広くサポーターを募集し、事業に共感、協力をしてくれる区民を募った。 <p>【1】ワークショップ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①知的障害疑似体験 ②Tシャツ制作ワークショップ <p>【2】公演事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「サファリパークDuoコンサート」 ②「くつろげるおんがくかい」 ③「アンディ先生のマジック教室」 <p>【3】ホール公演事業 「音と空間のジャグリング」障害者30組招待</p> <p>【4】アウトリーチ事業（2か所・計3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら文化体験の場に出向くことが出来ない子どもたちに、豊かな文化体験を届ける。現場とのコミュニケーションを深め、要求に即したより有効な文化体験を届けることを目指した。 ①二葉乳児院「チリンとドロンのコンサート」 ②余丁町小学校わかまつ学級 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴスペルワークショップ 講師：ゴスペルシンガーHAL ・落語体験 講師：桂宮治 <p>【5】委員会 全6回</p>

具体的な活動状況

【1】ワークショップ事業

①知的障害疑似体験

事業内容：新宿区手をつなぐ親の会に講師を依頼し、知的障害や発達障害を持つ人の困難さを体験した。

ワークショップ内容は

- ・「ことばを聞いて絵を描こう」
- ・「軍手着用によるシールはり体験」
- ・「シングルフォーカス」
- ・「曲名あてゲーム」

②Tシャツ制作ワークショップ

事業内容：知的障害を持つ演者の「サファリパークDuoコンサート」のアピールも兼ね、キャラクターをデザインし、スタッフTシャツを制作した。

【2】公演事業

区内3か所で実施。3公演共通で、18歳以下の子どもと75歳以上の高齢者、障害者は無料、大人1000円という参加しやすい条件設定で実施した。

①「サファリパークDuoコンサート」

事業内容：横浜で活動している姉弟のジャズユニットによるコンサート。

演者やスタッフがワークショップで制作したTシャツを着て会場の一体感を出し、西新宿小学校の展覧会の作品を舞台の装飾として使用するなど、楽しい雰囲気の間づくりとなった。

ロビーで榎町にある福祉施設おんぶらーじゅの販売も行い、障害者との交流の場となった。

②「くつろげるおんがくかい」

事業内容：オペラシアターこんにゃく座で活躍するピアノ演奏と歌役者によるの小さい子から高齢者までが楽しめるコンサート。

鍛え抜かれた人の声の迫力と楽しいプログラムで、幅広い年代で楽しめる満足度の高いコンサートとなった。

③「アンディ先生のマジック教室」

事業内容：多くの親子連れの参加があり、目の前で繰り広げられる本格的なマジックに多くの驚きの声が上がっていた。

最後は参加者全員にスプーンが配られ、スプーン曲げに挑戦。8割の参加者が成功していた。障害者の参加はあったのだが、高齢者の参加が少なかったことが残念だった。

【3】ホール作品公演事業 「音と空間のジャグリング」

事業内容：空転軌道によるジャグリングのステージで、障害のある方30組60名をご招待する旨を告知した。

取り組みに際し、事前に障害への配慮の状況を確認し、安心して参加できる会場づくりを心掛けた。

招待枠を設けたことから、身近な障害者への声かけも増え、一緒にステージを楽しむことが出来た。

終演後、ホール内でジャグリングの体験コーナーを設けた。体験コーナーに車いすの方の参加もあり、ほかの参加者との交流のシーンがあった。

榎町のシャロームみなみ風のおんぶらーじゅに

ロビー販売の場を提供することで、働く障害者との交流も持つことが出来た。

<p>具体的な活動状況</p>	<p>【4】アウトリーチ事業（2か所・計3回） 自ら出向くことが困難な子どもたちに文化体験を届ける。</p> <p>①二葉乳児院「チリンとドローンのコンサート」 事業内容：計画段階ではわらべ歌のワークショップ2回計画をしたのだが、現場から鑑賞型のアウトリーチの要求があり、希望に添えるよう計画を変更した。 プロのアーティストが訪れることはないそうで、チェロやバイオリンの生の音と優しい歌声に、子どもにとっても保育者にとっても、豊かな時間を提供することが出来た。</p> <p>②余丁町小学校わかまつ学級（東京女子医科大学院内学級） 事業内容：余丁町小学校のわかまつ学級は都内の公立小学校で、数校しかない院内学級で新宿の教育の大きな特徴でもあり、そこに文化体験を届けることができた。 事前に、担当と連絡を取り合い、その時に参加できる子どもの様子にあわせたプログラムを提供した。 2回目の落語は最初予定していた日程での実施が難しくなり、再度日程調整をして本番を迎えた。 子どもたちにとって、プロの演者と関わることで文化の持つ生きる力を存分にうけることができていたようだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴスペルワークショップ 講師：ゴスペルシンガーHAL ・落語体験 講師：桂宮治 <p>【5】委員会 全6回 委員会を通して、障害を知り、事業の精査を図った。 委員が議題を地域で話すことを通して、広く事業を知らせることも出来、地域で障害者と共存することへの意識を高めることが出来た。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>昨年度に引き続き障害者を意識し、年間を通して、子ども、障害者、高齢者を含む地域で生活をするすべての人を対象に文化活動を展開したことにより、相互理解が少しずつ進んでいる。</p> <p>昨年度の実績や、疑似体験ワークショップ等を経て、障害者との関係も広がり、多角的に参加への声かけなどの交流の場面がみられたのは大きな成果といえる。</p> <p>事業全体の参加者は798名で、その9割近くは新宿区民であり、アンケートの満足度も満足・ほぼ満足が9割をこえていることから、全体として新宿区民に大きな成果があったと考える。</p> <p>○「知的障害疑似体験ワークショップ」 身体的障害と比べると、体験する機会の少ない知的障害の疑似体験を、具体的に体験する場を提供できたことは大きい。 個人的特性の差が大きい障害であるので、理解するまではいかないが、納得することが多い体験となった。 講師をお願いした新宿区手をつなぐ親の会の方たちは、障害を抱えた子どもを持つ親が中心で活動をしているのだが、講師の前向きで明るい姿に、魅力を感じ活力をもらった受講者が多かった。 今回は、親子での参加が多かったのだが、幅広い年代で、また家族で受講することにより、障害への理解の深まりにつながった。</p> <p>○「Tシャツづくりワークショップ」 知的障害を抱えながら活躍しているサファイパークDuoコンサートに向けてのワークショップで、作業を通して、サファイパークへの関心が深まるとともに、子どもから大人まで多世代の方々が交流できる場となった。 台風の影響で直前に日程変更をしたことで参加者が少なかったのが</p>

<p>事業の成果</p>	<p>残念だった。</p> <p>○公演事業 地域に密着した3公演とも、地元で話し合い作品や会場決めをしたことから、個性的な3作品が並んだ。特に、西新宿地域の「サファリパーク Duo コンサート」は小学校のPTAや子ども食堂、おんぶらーじゅの協力もあり、地域の多くの人と取り組んだ公演となった。どの公演も、子どもと75歳以上の高齢者、障害者は無料にし、チラシの裏面は共通にしたことから、複数の作品に参加した障害者の方もいて、文化を楽しんでいた。</p> <p>○ホール作品公演事業 昨年度、事業の延長から、当法人独自で障害者30組を招待する舞台公演を実施した実績をもとに、今年度の事業に取り組んだ。取り組むにあたり、障害者の実態に沿った配慮事項等も確認をし、会場設営から対応できるように実施した。自立した障害者の方が多く、一般の観客とは自然な関係を持つことが出来た。公演後、会場で行ったジャグリングのワークショップでも、障害者との自然な交流が生まれていた。ホール公演でも、おんぶらーじゅの販売があり、年間通して複数回出会う機会があったことで、顔のつながる関係になってきている。</p> <p>公演事業に関しては、広くサポーターを募集し、事業に共感、協力してくれる区民を募った。一口1000円で125口の寄付をいただいた。</p> <p>○アウトリーチ事業 昨年度の新宿養護学校に続き、今年度は二葉乳児院や東京女子医大の院内学級、余丁町小学校わかまつ学級へのコーディネートしたのだが、自ら文化体験の場へ出向くことが困難な子どもたちに文化体験を届けることの意義は大きい。同じ地域に、自ら文化体験の場に出向くことが出来ない子どもたちがいることへ思いを馳せることのできる市民が増えることは、だれもが安心して生活できる社会への成熟につながる。また、新宿区は乳児院や院内学級が整備されているが、そういった環境が他の地域では必ずしも整えられているものではないことをそこで生活をする子どもたちにアウトリーチ事業を通じて気づいてもらおうきっかけとなった。また、それらの施設に届ける場合、状況にあった作品、講師の選択と実施環境の整備は重要であり、当NPOのようにコーディネートを担当する存在は大きい。そのうえで、経済面からも継続できる方策を考えていくことは大きな課題といえる。</p>
--------------	---

令和元年度一般事業助成実績報告書〈別表〉

事業名：障がい者と共に輝く文化体験～インクルーシブ・共生社会を目指して

実施期間：2019年6月7日（金）～2020年2月15日（土）

ワークショップ事業 のべ53名 （うち区民50名）	(1) 知的障害疑似体験 実施日：9/8（日） 会場：戸塚地域センター 参加人数：35名（内区民33名・区外2名）・講師7名・スタッフ3名・事務局3名 講師：新宿区手をつなぐ親の会 アンケート結果（満足度）：①大変満足84% ②満足10%③普通3% ⑥未記入3% アンケート回収枚数33枚
	(2) Tシャツ制作ワークショップ 実施日：10/14（月祝） 会場：新宿区立西新宿小学校 ランチルーム 参加人数：子ども8名・大人10名（内区民17名・区外・講師1名・スタッフ2名・事務局2名）
公演事業 のべ459名 （うち区民415名）	(1) 「サファリパークDuoコンサート」 実施日：11/30（土） 会場：新宿区立西新宿小学校 講堂 参加人数：110名（子ども43名・高齢者9名・障がい者4名）（うち区民100名・区外10名）スタッフ5名 事務局3名 アンケート結果（満足度）：①大変満足65% ②満足5%④やや不満5% ⑥未記入5% 回収枚数20枚
	(2) 「くつろげるおんがくかい」 実施日：9/29（日） 会場：聖母ホーム 参加人数：138名（子ども50名・高齢者17名・障がい者7名）（うち区民125名・区外13名）スタッフ5名 事務局3名 アンケート結果（満足度）：①大変満足53% ②満足30%⑥未記入15% 回収枚数13枚
	(3) 「アンディ先生のマジック教室」 実施日：10/6（日） 会場：新宿区立花園小学校 アリーナ 参加人数：211名（子ども98名・高齢者0名・障がい者1名）（うち区民190名・区外21名）スタッフ5名 事務局3名 アンケート結果（満足度）：①大変満足83% ②満足8% ⑤未記入8% 回収枚数23枚

令和元年度一般事業助成実績報告書〈別表〉

<p>ホール公演事業 130名 (うち区民117名)</p>	<p>(1) 「音と空間のジャグリング」 空転軌道 実施日：1/25 (土) 会場：牛込笹笥区民ホール 参加人数：130名 (子ども39名・障がい者19名・) (うち区民117名・区外13名) スタッフ8名 事務局3名 アンケート結果 (満足度) : ①大変満足90% ②満足5% ⑤未記入5% 回収枚数20枚</p>
<p>アウトリーチ事業 のべ50名 (うち区民32名)</p>	<p>(1) 二葉乳児院 実施日：9/25 (水) 会場：二葉乳児院 玄関ホール 参加人数：41名 (子ども23名・職員18名) スタッフ3名 事務局1名 講師：チリンとドロン (ロバの音楽座)</p> <p>(2) 余丁町小学校わかまつ学級 (東京女子医大院内学級) 実施日：①7/10 ②11/7 会場：余丁町小学校若松学級 参加人数：①子ども5名 ②子ども4名 スタッフ3名×2回 事務局2名 講師：①ゴスペルシンガーH A L ②桂宮治</p>
<p>委員会 のべ102名 (うち区民92名)</p>	<p>実施日：①6/15 ②9/14 ③10/12 ④12/14 ⑤1/11 ⑥2/15 (全6回) 会場：ゆったり～の・牛込笹笥地域センター 参加人数：新宿子ども劇場の会員のべ102名 (うち区民92名) 事務局3名×6回</p>

一般事業収支決算書

費目		決算額	内 訳
支 出 区 分	①使用料及び賃借料	72,900 円	委員会会場費 6600 円 知的障害ワークショップ会場費 1800 円 くつろげるおんがくかい会場費 2500 円 ジャグリング会場費 48900 円 ジャグリング付帯設備費 12300 円 委員会会場費 800 円
	②印刷製本費	80,590 円	サポーターチラシ 4490 円 アンディ先生チラシ 9280 円、 疑似体験チラシ 9270 円、くつろげるおんがくかい 7820 円 T シャツワークショップ 1340 円サファリパークチラシ 12540 円 2590 円 ジャグリング 22080 円、6640 円 委員会等印刷、コピー4540 円
	③消耗品費	48,525 円	カードシート 540 円 封筒 1096 円インク 3645 円、5569 円、2875 円、OPP 袋 6674 円 ポリ袋 4254 円、領収書 311 円、チケット用紙 756 円 T シャツづくり材料 432 円 1100 円 14674 円、1650 円、1883 円封筒 21 円、ファイル 2739 円 付箋 306 円
	④委託費	0 円	
	⑤講師謝礼	698,100 円	わかまつ学級アウトリーチ(ゴスペル)(落語)35,000 円×2回 疑似体験ワークショップ 30,000 円 くつろげるおんがくかい 52,820 円、54,758 円 二葉乳児院アウトリーチ(チリンとドロン)50,000 円 T シャツづくり講師 13,000 円 サファリパーク Duo 66,990 円 アンディ先生 177,272 円 空転軌道 183,260 円
	⑥その他謝礼	141,500 円	チラシ制作 5000 円×4 回+7500円 わかまつ学級アウトリーチ 3000 円×3 名×2 回 二葉乳児院アウトリーチ 3000 円×3 名×1 回 疑似体験ワークショップスタッフ3000円×2 名 T シャツづくりワークショップ3000円×3名 くつろげるおんがくかいスタッフ3000円×5名 アンディ先生のマジック教室スタッフ3000円×5名 サファリパーク Duo スタッフ3000円×6 名 音と空間のジャグリングスタッフ3000円×8名
	⑦交通費	4,304 円	サファリパーク下見 4304 円
	⑧保険料	0 円	
	⑨その他諸経費	35,781 円	アンディ先生調整費4650円、ジャグリング調整費5400円 チラシ送料807円750円、370円、送料 84 円、120円チケット返金1000 円、100円 アンディ先生スプーン代21600円 アウトリーチ駐車料900円
	⑩人件費	180,000 円	団体構成員 1500 円×3時間×10 回×4 名
事業費(①から⑩の合計)		1,261,700 円	
⑪ファンドレイジングに関する経費		9,200 円	DM切手代9200円
⑫助成対象経費(事業費+⑪)		1,270,900 円	助成金交付金額 500,000 円(-)
余剰金(A)		0 円	
⑬助成対象外経費		31,988 円	アウトリーチ昼食 4860 円、疑似体験お茶 753 円 くつろげるおんがくかいプレゼント 1900 円、昼食 4688 円 アンディ先生昼食 500 円、700 円 1500 円 803 円 サファリパークお茶・お昼 530 円、1440 円 4000 円、216 円 プレゼント 670 円ジャグリングお昼 8044 円、ポイントカード加算分 1384 円
事業総額		1,302,888 円	

収入区分	内容	決算額	内 訳
	㊦事業収入 (参加費、資料代等)	276,000 円	くつろげるおんがくかい 46000 円、アンディ先生のマジック教室 85000 円 Tシャツづくり 9000 円、サファイパークDuo11000 円 音と空間のジャグリング 125000 円
	㊧寄附金	125,000 円	落合地域 32000 円四谷地域 56000 円西新宿地域 37000 円
	㊨補助金収入		
	㊩協働推進基金助成金交付額	500,000 円	
	㊪団体負担金	401,888 円	会員参加費、不足分
収入総額		1,302,888 円	
余剰金 (B)		0 円	

返 還 金	0 円
-------	-----

一般事業自己評価表

※事業実施における成果や実施にあたっての課題を記載してください。

評価のポイント	自己評価
事業計画及びスケジュールに沿って事業を実施できたか。	アウトリーチ事業の二葉乳児院に関して、当初わらべ歌のワークショップを2回実施する計画だったが、乳児院側から保育士の人数確保が難しいということから、鑑賞型1回の実施となった。1回しか実施はできなかったが、目の前で演奏されるチェロやバイオリンの音に1歳児中心の子どもたちも集中して聞いていて、保育士の方たちも子どもの新たな面を発見していた。鑑賞型のアウトリーチを実施したことの反響は大きかった。その他の事業はほぼ計画通りに実施できた。
実施にあたって、必要な人員体制がとられたか。安全確保がなされたか。	どの事業も、謝金対象スタッフのほかにボランティアスタッフも携わり、滞りなく実施できた。安全面においても、事前の打ち合わせを綿密に行い、会場に対する人数も適正で安全面の確保は十分であった。
事業を通じて、多くの区民の社会貢献活動の啓発に役立つものとなったか。	各事業の前後に委員会を設け、事業主旨と内容を精査し、委員や広報誌を通して広く区民の啓発も行ったことから、インクルーシブへの理解が深まった。昨年度からの積み重ねもあり、参加者の障害者への理解も深まり、ダウン症の親の会などの新たなつながりもできた。
地域課題や社会的課題に対してどのような成果や効果があったか。今後、見込まれる効果はどのようなものか。	<p>課題①② 国や自治体の方針については委員会等で議題にあげ共有を図り、当事業の意義を共有した。共有した内容は、委員が地元を持ち帰り普及したり、機関誌等でも広報に努めた。</p> <p>課題③ 知的障害疑似体験ワークショップでは新宿区手をつなぐ親の会との関係ができ、ほかの団体にワークショップを紹介し、実施に至った。シャロームみなみ風のおんぶらーじゅとの協働が複数回行われたことで、障害者への理解が深まった。</p> <p>課題④⑤ 公演事業では障害者が無料で参加できる体制を作ったことから、各事業に参加者が増え、ともに同じ空間を楽しむ経験を積むことが出来た。また、受け入れ側も当事者に確認をして配慮するなど、参加しやすい環境づくりを目指した。障害特性に応じた環境の整備は今後も研鑽が必要といえる。</p> <p>課題⑥ 自ら文化体験の場へ出向くことが出来ない子どもたちに文化体験を届けることは、子どもたちに豊かさ生きる力を与える重要な事業である。当事者にとっても、その子どもたちを支えている職員</p>

	<p>にとっても貴重な時間であった。また、その場を共有したスタッフにとってもその思いは強く、今後の継続に向けての意欲を高めることが出来た。</p>
<p>団体の先駆性や専門性を活かすことができたか。</p>	<p>各事業で日頃より培ったコーディネーターとしてのスキルを活かし、参加した人たちがより良い体験を出来る環境を整備することが出来た。また、団体構成員が日常に活動しているフィールド（小学校・子ども食堂・民生委員等）を活用して、多世代の人に事業を紹介することが出来た。子ども・高齢者・障がい者・若者など同じ地域で生活するすべての人を視野に入れ、共生社会を目指し、身近な地域で文化活動を展開するという当法人の役割を再確認した。</p>
<p>経費見積りは適正だったか。</p>	<p>適正だった。 会場に関しては、学校などの公共施設を利用することで、会場費を削減することが出来た。</p>
<p>（今回の事業を次年度以降も継続していく場合）継続性や発展性が期待できるものとなったか。資金確保に努めたか。</p>	<p>今年度の事業を通して、今後も継続していくべき事業であると確信している。地域に広くサポーターの募集をし、参加者以外にも事業への協賛を得る努力を続けており、資金面で支援をしてくれる方も増えている。ただし課題⑥に関しては、デリケートな状況であるだけに、コーディネーターの存在は重要であり、当法人が担うべき事業と感じている。アウトリーチ事業に関しては、今後の安定した事業展開を考えると行政の力も重要である。</p>
<p>事業の実施にあたって、課題や問題点はあったか。どのような対策が考えられるか。</p>	<p>事業の告知については、小学校へチラシを全校配布や、SNS でアピールを行ったが、参加する人は一部の人であり、区民すべての人を対象とはなりえなかった。障害者も一部の団体との交流のみとなり、さらに幅広い交流を持つためにも、今後も継続した事業が必要といえる。</p>

5 その他

*参加者アンケートの結果を報告してください。

*事業の成果物(冊子等)、事業の開催時の写真等提出できるものがある場合は、添付してください。

アンケート結果

	回収 枚数	とても 満足	満足	普通	やや不 満	不満	無記入
疑似体験	33	28	3	1	0	0	1
くつろげるおんがくかい	13	7	4	0	0	0	2
サファリパーク	20	13	1	0	1	0	5
アンディ先生	23	19	2	0	0	0	2
ジャグリング	20	18	1	0	0	0	1
合計	109	85	11	1	1	0	11
割合		78%	10%	1%	1%	0	10%

・Tシャツ制作ワークショップはアンケートを取ることが出来ませんでした。

実施報告に関しては、機関紙 11月号参照。

・アウトリーチに関しては満足度を伺えていないが、担当職員からはとても満足している感想をいただいています。

二葉乳児院からは書面で職員の感想が後日とどいたので、アンケートと一緒に添付しました。余丁町小学校わかくさ学園からは、教員より後日報告がありました。

ゴスペル：自分たちの言葉が曲になり、みんなで歌いながら教室の中を行進したのがとても楽しかったようで、次の日は♪ネバネバ ネバネバ ネバーギブアップ♪と歌いながら教室に来ていました。

落語：とても楽しかったので、講師の宮治さんに、子どもたちから直接お礼の手紙を書きたいので、転送をしてほしいとの依頼を受けました。

●ワークショップ事業

(1) 知的障害疑似体験 9/8 (日) 戸塚地域センター



(2) Tシャツ制作ワークショップ 10/13 (日) 西新宿小学校ランチルーム



●公演事業

(1) サファイアパーク Duo コンサート 11/30 (土) 西新宿小学校 講堂



(2) くつろげるおんがくかい 9/29 (日) 聖母ホーム



(3) アンディ先生のマジック教室 10/6 (日) 花園小学校 アリーナ



●ホール公演

音と空間のジャグリング 2020年1/25 (土)



●アウトリーチ事業

(1) 二葉乳児院 9/25 (水)



(2) 余丁町小学校わかまつ学級

・ゴスペル 7/10 (水)

・落語 11/7 (木)

